

26. 血液腫瘍

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん
※別紙5に入力した内容が反映されています。
※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
○:あり ×:なし

○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ		
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	化学療法	移植			放射線療法		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容		
				自家末梢血幹細胞移植	血縁者間同種造血幹細胞移植	非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移植	体外照射	全身照射			治療内容	治療実績	医師の専門分野
1 血液内科	3	2	状況 ○ 実績 あり	○	×	×	×	×	白血病、リンパ腫に対する化学療法を中心に、リンパ造血器疾患の診断と治療を行います。遺伝子解析、免疫学的診断法を取り入れた正確な診断と病態解析に基づいた適切な治療に努めます。	ア http://www.irosakahosp.jp/outpatient/ketsueki.html イ http://	掲載あり	掲載なし	掲載あり
2 放射線科	2	1	状況 × 実績 なし	×	×	×	○	×	放射線治療は、がんに対する集学的治療として他の診療科と連携しながら実施します。	ア http://www.irosakahosp.jp/outpatient/ho_shasen.html イ http://	掲載あり	掲載なし	掲載あり
3			状況 実績							ア http:// イ http://			
4			状況 実績							ア http:// イ http://			
5			状況 実績							ア http:// イ http://			

<p>昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日</p>	<p>例:急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫 急性骨髄性白血病、慢性骨髄性白血病、真性多血症、骨髄異形成/骨髄増殖性疾患、成人T細胞性白血病/リンパ腫、原発性骨髄繊維症、突発性血小板血症、慢性リンパ性白血病、急性リンパ性白血病、多発性骨髄腫、びまん性大細胞性B細胞リンパ腫、成人節外性NK/T細胞リンパ腫鼻型、マントル細胞リンパ腫、MALTリンパ腫、ホジキンリンパ腫、血管免疫芽球形T細胞リンパ腫、他</p>
--	---